

第1回新潟市花育推進委員会 会議速報

日時	平成23年9月6日(火) 午後2時～午後4時
会場	新潟市食育・花育センター講座室
出席委員	石井委員、伊藤委員、加藤委員、児玉委員、佐藤委員、関委員、森田委員、米田委員、渡辺委員
欠席委員	石井委員
傍聴者	なし
事務局	中澤農林水産部長 食育・花育センター(大谷所長、佐久間係長、梅沢係長、瀧澤係長、木村技師) 環境政策課(伊藤主査) 保育課(塚田指導保育士) 農村・都市交流施設整備課(佐藤主査) 公園水辺課(渋川副主幹) 学校支援課(田村指導主事)

概要

1 会長、副会長の選出

会長に森田委員、副会長に佐藤委員を選出した。

2 花育推進における具体的な事業展開について

【資料2】

(事務局説明)

- 資料を基に、花育推進計画に記載されている事業について説明

3 新潟市花育推進計画数値指標現状値一覧について

【資料3】

(事務局説明)

- 資料を基に、花育推進計画数値指標現状値一覧について説明

(主なご意見等)

- 食育・花育センターの入場者数の目標値を8万人/年から10万人/年に上方修正することを確認
- 「全ての園児・児童が参加している割合」は保育園、小学校とも、現実として難しい面がある。
- 「生産現場の花育活動登録者数」については、どういう協力の仕方をすればいいのかを生産者にしっかり説明すれば、協力する人もいると思う。

4 平成23年度花育推進事業主な取り組みについて

【資料4-1、4-2】

(事務局説明)

- ・ 資料を基に、平成23年度に実施予定の花育推進事業について説明

(主なご意見等)

- ・ 生産者の皆さんの活躍が望まれる。それが新潟市らしい花育だと思う。
- ・ 10月の終わりか11月の初めにイベントとして、食育・花育センターの圃場で子供達を含めたチューリップの球根植えをやって欲しい。
- ・ 十日町の公民館が新潟市の花の直売場や花の生産現場をめぐるツアーを行った。こういった市外の方が新潟の花を楽しめるツアーをやれるといい。
- ・ 食育・花育センターの花壇は市民参加型にして、市民みんなが育てている食育・花育センターとして欲しい。
- ・ 生産者は花のいい時期は忙しいので指導者の登録というとなかなか難しい面がある。「マスター」という名前を変えると参加しやすいかもしれない。
- ・ 生産者の圃場に市民からきてもらい、生産者が圃場を案内した後に、そこの花を使って何か花飾りを作りたいとなれば、花育マスターがお手伝いするような仕組みとすれば、生産者の負担も軽くなるのではないか。
- ・ 学校現場に花育の推進ということが浸透していない。教育ビジョンに位置付けてもらい、校長会に出向いてPRするのではないかな。
- ・ ケナフを育てて和紙を作る取り組みが、食育・花育センターでできるといい。
- ・ 緑化活動推進事業を利用している331団体に花育マスター制度をPRすると、より活用してもらえるのではないかな。
- ・ 花育通信は6ページでなく、4ページの方が見やすくいいのではないかな。
- ・ 花育サイトは民間の情報も加えると面白くなる。

5 食育・花育センターの概要について

【資料5-1、5-2、5-3】

(事務局説明)

- ・ 資料を基に、食育・花育センターの概要について説明

6 新潟市食育推進キャラクター“まいかちゃん”の取り扱いについて

【資料6】

(事務局説明)

- ・ 資料を基に、まいかちゃんを食育・花育推進キャラクターにすることについて説明

次回開催

- 平成24年2月